

# 神学校献金の取り組み

## 多摩みぎわキリスト教会の場合

多摩みぎわキリスト教会牧師 石井 規之

私たちの教会では、数年前より毎年神学生をお招きし、メッセージをして頂いています。(昨年は、コロナ・ウイルスのためお招きできませんでした。)今年には学生の小平公憲さんをお招きました。今までに来られた方には、現在も学んでおられる方、そして、すでに招聘されて活躍しておられる方もいらっしゃいます。学生・神学生に奉仕の機会を提供させて頂くだけでなく、その出会いを祈り続ける出発点としています。学びが祝されますように、神様が備えられた教

会に招聘されますように、教会によく仕え、ますます整えられた働き人となられますようにと祈り続けます。そのようにして、学生・神学生とつながり、卒業されて教役者としての働きにつかれた方につながり、また、仕えられる教会とつながることを喜びとしています。時々、「あの方はどうしているだろうね」、「先生が仕えておられる教会はどんな教会だろうね」との会話を聞くことがあり、その時には学生・神学生に来て頂いて本当によかったなと思います。そ

して、私たちの教会にも主の召しを受けられる方、もしかしたら既に受けておられる方がいらっしゃるかもしれません。そのような方の励ましとなればとの思いもあります。献身者は多すぎるということはありません。献身者は、私たちの宝です。そして、神様に召された方を、神学校を、祈りと献金をもってお支えするのは教会の特権であり、恵みです。これからも喜んでこの働きを支えさせていただきます。

# 神学校献金・後援会献金 実績 (2021年 4月~12月)

2021年4月~12月 後援会献金 (個人)  
129名・148件 合計1,139,000円

阿部義孝 芦沼光雄 伊藤真知子 井上昭子 井上政博 梶基子 越智満 塩山宗満 奥谷恭子 奥田光子 奥田厚子 岡田成實 岡田富美子 岡澤幸一 加山礼子(2) 加藤郁雄(2) 角田秀明 角田芳子 関根孝枝 丸山勉 岩瀬ミチ 鬼澤寛 吉原正子(2) 久保公平 金元たづ子 熊澤コト 古家良子 古根村聖子 古川敬康 古川博子 戸井田敦子 五十嵐桂子 後藤ますみ 向井浩子 高橋良子 高柳美枝子 鴻野清美(2) 佐藤幸子 斎藤美津栄(2) 坂川里味 鮫島泰子 三木睦美 山口宜由紀 山崎清美 山川許子(2) 山内敏明 山本弘夫 山崎美奈 四津明美 持山優子 若林一枝 秋山信夫・純子 十時節子(2) 勝俣昌也 小出久美 小勝琢生(2) 小松澤一枝 小柳隆司 松村栄子 松田健太郎(2) 松田俊介 松田朝子(2) 上原一晃 常廣澄子(2) 森山ひろみ 神山武 瀬戸口早苗 星田恒 清水伸晴 西方泉 青山祐一 青木節子 石垣恵子 石垣茂夫(2) 石橋香緒里 石原誠 石水美佐子 川勝高宏(2) 川平朝清(2) 染森哲朗 相澤賀代子 村上真由美 村上千代 大場征子 大矢公子 竹内正幸 竹澤明 中根浄 中澤つみ 仲山和恵 丁野雅子 長塚幸子 鳥飼好男 辻真理子 坪井通泰 鶴ヶ谷芳昭(2) 鶴野博子 田村俊彦 田村真由美 田中由記子 渡部富夫 都丸利子 土屋小夜子 藤田尚子 内田泰亮 内藤淳一郎 荻中梨枝 白田洋子 飯野實 富田直美(2) 武章子 福本綾子(2) 文廷翼 平井純子 豊永義典 北野弘子 木元和子 木原道雄(3) 木村一充・まどか 木村晋治 柳澤芳信 友納薫 立田卓也 林玲子 鈴木幸子 蓮香隆夫 櫻井朋美 澁谷和美 濱崎信郎

2021年4月~12月 教会献金  
47件 合計1,787,035円

【東京地方連合】17件  
花野井バプテスト教会 経堂バプテスト教会 篠崎キリスト教会 赤塚バプテスト教会 仙川キリスト教会 千葉・若葉キリスト教会 泉バプテスト教会 船橋教会 多摩みぎわキリスト教会 多摩川キリスト教会 大井バプテスト教会 日野神明キリスト伝道所 富里キリスト教会 木更津伝道所(2) 目白ヶ丘教会 蓮根バプテスト教会

【北関東地方連合】13件  
ふじみ野バプテスト教会 宇都宮キリスト教会 浦和キリスト教会 所沢キリスト教会 上尾キリスト教会 水戸バプテスト教会 西川口キリスト教会 前橋教会 太田キリスト教会 大宮バプテスト教会 東海バプテスト教会 日立バプテスト教会 飯能バプテスト教会  
【神奈川地方連合】11件  
ふじみキリスト教会 横浜 JOYバプテスト教会 横浜ニューライフバプテスト教会 横浜戸塚バプテスト教会 横浜大和町キリスト教会 港南めぐみキリスト教会 湘南台バプテスト教会 青葉キリスト教会 川崎バプテスト教会 相模中央キリスト教会 藤沢バプテスト教会  
【その他】6件  
鮫バプテスト教会 山形キリスト教会 相模原希望伝道所(2) 大和愛宣教伝道所 小倉キリスト教会  
\*連合別内訳\*  
東京675,730円、北関東552,555円、神奈川447,750円、その他111,000円

2021年4月~12月 集会献金  
6件 合計87,200円

入学礼拝席上献金 夏期講座開会礼拝席上献金 夏期講座閉会礼拝席上献金 後期始業礼拝席上献金 冬期講座開会礼拝席上献金 冬期講座閉会礼拝席上献金  
\*連合別内訳\*  
東京0円、北関東0円、神奈川0円、その他87,200円

## 東京バプテスト神学校の働きを支援するために あなたも「後援会」にご入会ください

- 1. 定期支援  
個人会員  
年額1口 ¥5,000  
何口でも歓迎いたします
- 2. 自由献金支援  
支援額も、支援回数も  
ご自由にお決めください。

郵便振替口座  
00210-8-75658  
東京バプテスト神学校後援会  
※専用払込票をご希望の方は、メールにてお申込下さい。



# 東京バプテスト神学校 後援会 NEWS

No.32  
Homepage ▶ <http://tbts.jp> Mail ▶ [seminary@tbts.jp](mailto:seminary@tbts.jp)  
〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141  
発行日：2022年2月3日 発行者：東京バプテスト神学校後援会 秋山 信夫

## 巻頭言

### 小さなことから始まる

### 何かに期待しつつ



東京バプテスト神学校後援会 書記 岩瀬 礼 (綾瀬小園キリスト教会牧師)

主のみ名を賛美します。常日頃より東京バプテスト神学校の働きを覚えて祈り、またご支援くださっていることを感謝申し上げます。昨年より後援会書記として奉仕しておりますが、その働きを通して改めて思わされたことを少しまとめおきたいと思いました。

#### ■神学校のために祈ること

東京バプテスト神学校は三連合(北関東・東京・神奈川)立の神学校です。神学校の働きは多くの方がたに支えられていますが、とくに三連合に連なる教会の皆さんは「私たちの神学校」として覚え、祈っていききたいものです。祈りはどなたにもできる大切な働きです。たとえ小さな祈りであったとしても、日々神さまの前に積まれる祈りは神さまが定められた時に豊かな実りをもたらすものとなるでしょう。

そして神学生と会う機会があったなら「あなたの学びを覚えて祈っています」と、ぜひ声をかけてほしいのです。学ぶ神学生たちにとって多くの方がたにも祈られることは大きな励みでもあるのですから。

#### ■神学校を覚え、おさげすること

神学校の働きは皆さまの祈りとささげものによって支えられています。神学校週間には皆さまの教会において西南学院大学神学部・東京バプテスト神学校・九州バプテスト神学校を始めとする神学校のアピールがされていると思います。さらに多くの方がたにその働きをお支えいただけるよう後援会も神学校と協力し、さらに学びの場を整え、働き人を送り出していくことを願っています。どうしたらもっと多くの人に働きを知っていただけるか、自分のこととして一緒に考えてみませんか。

#### ■神学校で学んでみる

東京バプテスト神学校は牧師や主事等になる方がただけの学び場ではありません。どなたでも学べる「本科」(3年)及び「信徒リーダー養成コース」(2年)、夏期・冬期公開講座など学びの時間が提供されています。また、教室での授業だけでなくオンラインや教会共同受講など受講の形もライフ・スタイルに合わせて選ぶことができます。

「働きながら学ぶ」ということはなか

なか大変なことです。主の招きにに応じて、とは言え、学びへのモチベーションを保つのは一筋縄ではいきません。しかし、学びを深める喜び、そしてそこで出会う人びととの経験は貴重なものです。神さまと隣人を愛し、仕える者として整えられ、それぞれの場所に派遣される時、その経験は一人ひとりを支えるものとなるでしょう。

昨夏、久しぶりに公開講座に参加しました。牧会の現場に出て10数年が経ち、送ってくださるお知らせなどで気になる講座がありつつも、さまざまな理由でなかなか重い腰を上げることができませんでした。しかし、今回「スピリチュアルケア」という大変興味深いテーマを学ぶことができ、また新しい出会いも与えられ、いくつになっても学ぶことの大切さを知る時となりました。

まとめてみると一つ一つの事柄は小さく、当たり前のように思えますが、そこには決心と祈り、そして信仰の一步が必要なことに気がつかされました。そんな小さなことから始まる何かに期待しつつ、心新たに今年も歩ませていただきたいと思います。

## 牧師とされて思うこと — その難しさと神様からのチャレンジ

丸山 勉

(川越キリスト教会牧師)

川越教会での私の牧師就任式が2018年8月25日でしたので、早3年半になるようになっています。東京バプテスト神学校を2016年に卒業し、一年間の待機後、川越教会より招聘を頂き、50代後半で初めて牧師の任に就くことになりました。初めの頃は期待にも応えたいという思いが強く、気張ってみたいと思いますし、根拠のない自信(?)のようなものがありました。ある主日の説教中に頭が真っ白になって先に進めなくなり、5分間立ちつくしてしまっていたことがあります。原稿は用意していたにもかかわらずです。あれは一体何だったのかと考えると、知らずのうちに自分を追い詰めていたのかもしれない。自分は教会の責任者となったのだ、立派な説教をしなければいけない。(自分だけで立とうとする驕りですね)。

「牧師」の仕事の継続するのは決して楽ではないことを思います。アツと言う間に日曜日はやってきます(牧師となる前の2倍の速さになったような...)。とりわけ兼業の牧師にとっては時間のやりくりが大変です(私は今もFEBCの働きを週3日継続しています)。そして教会の中で、人間関係も含め様々な出来事が予告なしに起こってきます。自分はどちらかと言うと楽観的な人間かと思っていましたが、メンタル持つか?と思うこともあります。けれども、最近はいつものイエス様の言葉を思い起こします。「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもそ

の中にいるのである。」(マタイ18:20)。イエス様は、人間が複数集まればそこには必ず問題も起こってくるということをよくご承知の上で、その罪人の群れの中にこそわたしはいる、というお約束を語ってくださっているようにも思います。教会は正に「十字架のもと」にある交わりです。そこに慰められ、立ち帰らされます。例えば「牧会学」や「教会形成論」、「説教演習」の中で、先生方がご自分の牧会上のご経験も語られながら(東京バプテスト神学校の特徴だと思います)、いつも「教会の主はイエス様である」ことの大切さを示してくださっていたと思います。牧師は、決して教会のコンダクター(指揮者)なのではなく、あえて言うなら、アレンジャー(編集者)のような存在なのかなと思っています。一つの型に固執せず、柔軟に対応していくこと。良い意味で力を抜きながら進んで行きたいと思えます。

川越教会は、規模としては決して大きな群れではありません。また、平均

年齢も70才ほどでしょうか。しかし、神様は私たちの教会をお用いくださっていることを最近とくに思います。ホームページを見たり聞いたりして(コロナの中も宣教の音声はアップしています)この2年程の間に教会を訪ね、礼拝や祈り会につながり続けてくださっている方には比較的若い方も数名おられます。過去のトラウマのようなものや、あまり公にはしたくない悩みをお持ちの方にとって、私たちの交わりは落ち着いていて良いようです。他にも十年以上の空白を経て礼拝に戻って来られるようになった中堅の方もおられます。神様は本当に生きておられますね。この新しい年もコロナが収束するのかしないのか分かりませんが、神様は、教会が自己完結するのではなく、いかに新しい方と共に生きていけるのかを探っていくチャレンジを与えてくださっているように思います。皆様のお祈りを感謝しております。これからの川越教会のことをお祈りに覚えて頂ければ幸いです。



2021年12月19日 クリスマス礼拝後

## 知ることの恵み 井馬 佐紀子

(仙川キリスト教会)



主の御名を心から賛美致します。神学校に入学する前、神学を学んでいる学生の方が仰っていたことを思い出すことがあります。「学んでいく内に、自分が信じていたものの根底が揺さぶられて、信仰を試されるようだ」。当初はそういうものなのかと聞いていましたが、入学させていただき学んでいく中で、同じ御言葉でも自分が間違っただけで解釈していたかもしれないことや、歴史的背景を知っていく中で、信じてきたものが覆される経験もありました。しかしそれ以上に、知ったからこそ深く味わうことができた御言葉や感動、主の素晴らしさを思う時が与えられました。

東京バプテスト神学校の先生方は、『どの解釈が正しいか』ではなく『あなたはどうか?』に重点を置かれているように思います。授業の中でも学びを共にする方々から様々な意見や発想を聞くことができ、その視点は教会生活の中でも大きな指針となりました。

神様がそれぞれに語られている御言葉があり、私自身も教会も、その時々で変化していく。そのような中でこそ、主を知る喜びを共にしていけたらと願い、学び続けていけたらと思います。

**「我々は主を知ろう。主を知ることの追求めよう。主は曙の光のように必ず現れ 降り注ぐ雨のように 大地を潤す春雨のように 我々を訪れてくださる。」** ホセア書6章3節

## 豊かな学びのとき 遠藤 守

(鮫バプテスト教会)



神学本科に入学して、まもなく2年が経過しようとしています。勤めをしながらの学びですので、ライブ受講週2回、ビデオ受講週1回というペースで学びを続けています。私にとって毎日の勤めが放電と例えれば、神学校の学びは豊かな充電のとき、湧き出る泉に例えられます。

初めて受講したヘブライ語初級、ヘブル文字のアルファベットからひとつずつ学び、創世記の1章1節を「ベレシート、バラー、エロヒーム...」と今でも暗唱できるようになったことは、

## 神学は何の為に、 三浦 皇主郎

(札幌新生キリスト教会)



ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。」 ルカによる福音書17章20-21節

ハレルヤ!主の御名を賛美します。上記の御言葉は、私が東京バプテスト神学校での3年間の学びにおいて、最も深く考えさせられた御言葉です。好きな御言葉というよりも、良い意味で最も私の心を揺さぶっている、そんな御言葉であります。私はこれまで、神の国は神様を信じたら行ける所だと思っていました。ですから自然と聖書に書いてあるとおりの信仰を、歩みを、そういう生き方をして行きたいと強く望んでいました。それは今でも基本的には変わりません。けれども、イエス様が「実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ」と言われたその言葉の意味を考える時、学んできた神学をどのように適用するのか、神様との個人的な関係はもろちんですが、生まれも育ちも考え方もそのものが違う隣人に対し、「あなたはどのように向き合い、その間の関係をどのようにして修復していくか?」そこを一番問われている気がします。常に自分自身を吟味して、御言葉と照らし合わせながら、これからも主に仕え、教会に仕えていきたいです。

自分の中での宝です。また少人数のライブ受講では、「これについてどう思いますか」という問いに答える機会が多く、受け売りでなく、自分の言葉で考えを語る機会が多くあり、これによってただ知識を学ぶだけでなく、学んだ内容が自分の内面に定着し、それが豊かな収穫となっていることを感じます。

10月には住んでいる八戸から、在宅のまま東京北キリスト教会の主日礼拝に Zoom により参加し、メッセージを語るといふ得がたい経験を得ることができ、感謝です。

今後とも、神学校で今まで自分が知らなかった神学の学びを継続し、ひいては神様の御旨に沿う者に少しでも近づけるよう、学びを続けていく所存です。